

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	企画部地域づくり課		■担当係	地域支援係
■評価事業名称	地域づくり交付金			
■評価事業コード	010600 - 069	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり		
	■基本施策	02 魅力ある地域づくりの推進		
	■施策	01 地域の自主的な活動の推進		
■事業の種類	06 負担金・補助金(ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	北上市地域づくり組織条例、北上市きらめく地域づくり交付金交付規則			
■関連計画の名称	北上市総合計画(地域計画)			
■事業の概要	16地区の自治組織が策定した地域計画を地域住民自らが主体的に実現していくための財政支援を行うことにより、地域づくりを「自ら考え、自ら行う」環境を整備し、住民参加のもとに地域活動が活発化され、地域住民の創意と工夫によって生きいきと暮らすことのできる地域社会が形成されること。・16地区の自治協議会が行う地域づくり事業、交通安全活動、青少年健全育成活動及び自治組織運営に関する費用を交付金として交付する。・地域づくり事業に対する交付金は、各地域からの申請を審査し決定する。1地区上限100万円とする。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	地域づくり交付金	市内16地区の自治組織		15地区の自治組織で33の地域づくり事業を実施。(稲瀬地区は実施せず。)また、交通安全活動、青少年健全育成活動を含む各種の地域活動も活発に実施された。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	28,936	28,764	26,601	27,118	
人件費	2,717	5,154	4,218	2,990	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	31,653	33,918	30,819	30,108	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

全地区において各種活動を実施したほか、地域づくり事業は15地区において事業を取り組んだ。

問題点・課題等

現在の交付金制度が、地域にとって使いにくいとの意見があることから、25年度に検討委員会を立ち上げ、制度見直しを図っている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明